Кресту Твоему поклоняемся, Владыко, и святое воскресение Твое славим

小田原 平塚・修善寺・柏久保正教会だより
2022年12月1日発行　第233号

КРЕСТЪ クレスト

2022年12月号

司祭 ディミトリイ 田中 仁一
〒250-0011 神奈川県小田原市栄町四丁目 4-1
TEL/FAX：0465-22-2792 携帯　070-5079-3408
E-mail:　holyspiritodawara@gmail.com
教団 HP: http://www.orthodoxjapan.jp/
小田原正教会 HP:　http://odawara-orthodox.com/
郵便振替口座(小田原):　00270-6-15226

捧神なる我等の神父スピリドン、爾は第一全地公会の勝者、奇蹟者と顕れたり。故に爾は死者を起し、蛇を黄金に転じ、爾が聖なる祈祷を献じたるとき、天使は爾と倶に奉事せり。いと尊き者よ、光栄は爾に誉を與し者に帰し、光栄は爾に栄冠を被らせし者に帰し、光栄は爾を以て全ての癒しを施せし者に帰す。

トリミフトの主教 聖スピリドンのトロパリ（私訳）

トリミフトの主 教 聖 スピリドン

聖スピリドンは西暦270年にキプロスに生まれ、非常に謙虚な羊飼いとして知られていた。結婚してイリナという娘がいたが、妻と死別したのちに修道院に入った。第一回全地公会議ではアリウス派と大きな議論がされた。その時主教として会議に出席していた聖スピリドンは、「土くれは火によって陶器になるが素は同じだ」というたとえを用いて父・子・聖神の聖三者が一つの同じ本質であることを証明した。

●生神女進堂祭聖体礼儀（十二大祭）・執事会

12月4日（日）　10:00～　(9:30 痛悔)

使徒経:エウレイ 9:1-7　福音経:ルカ 10:38-42, 11:27-28

●五旬祭後第27主日聖体礼儀 (第2調)・月例パニヒダ

12月18日（日）　10:00～　(9:30 痛悔)

使徒経:エフェス 6:10-17　福音経:ルカ 17:12-19

●大晦日聖体礼儀　New Year Countdown Divine Liturgy

12月31日(土) 23:00 ～1月1日(日) 02:00

年末年始の予定は P5 参照。For Nativity and New Years' Schedule, see P5.

正教会にようこそ 24

ここで聖堂中央にぶら下がっているシャンデリアを見ながら、光としての神、キリストが私たちのすぐそばに在ること、「臨在」についてお話しします。それにしてもこの大きな輪っか状のシャンデリアは目立ちます。聖堂の真ん中にあることで、私たちの集まりの中心には光であるキリストが常に臨在していることを象っています。この形状のシャンデリアは聖堂のために作られています。祈祷の中に早課というのがあり、その中で第 134 聖詠（詩篇 135 扁）と第 135 聖詠（詩篇 136 扁）を歌うときがあります。このときを「ポリエレイ」または「多油祭」と呼びます。教会暦の中の大きな祭日期間では、ポリエレイのときになると誰かがシャンデリアについている取っ手でシャンデリア全体を揺らします。すると聖堂の四方が照らし出されます。大きくて重そうな物体が光を放ちながら揺れる様はどこか異様で怖い感じがします。私はこれを見ると神様がホントに近くに迫ってきたらコワいのかなと思いました。この習わしはギリシャ北部の半島になるアトス山から始まりました。よく聖山アトスと呼ばれますが、ここには生涯修道士として生きる男性たちで成り立つ国のような場所です。正教の霊性の中心地のひとつでもあります。暗闇に包まれた聖堂の中で、本物のロウソクを使用しているシャンデリアが動き、その先にある金色のイコンやモザイクイコンがその光を反射するありさまは、譬えようのない雰囲気を作り出します。

聖書に出てくる「光」の意味は深く考えられていないので、ここで「光」が何をもたらすかを少し考えてみましょう。ほんのつい最近まで、光源というのは火だけでした。オイルランプ、たき火、太陽の焼けつくような日、どれも火です。もし聖書の中で「光」という言葉が出てきたら、それは火が放つ光のことを想像してください。ヨハネ（イオアン）の第一の手紙の 1 章 5 節に「神は光であって、神には少しの暗いところもない」と記されていますが、このときに、私たちの手で操作できる電気の光を思い描いてはなりません。聖ヨハネ（イオアン）は、一歩間違えれば人の手に負えない危険な「火」を想定して書き記しているということです。

昔からどこの国であっても、大人が子供に初めて慎重に教えることは火の取り扱い方です。賢く使えば火は私たちに利益を与えます。光となり、暖を取ることができ、食材を調

理し、また心を癒します。しかし火の取り扱いを間違えれば、それは時に死に至る悲劇をもたらします。いずれにしても「火」そのものが性質を変えているのではありません。しかし私たち次第で、益も与えれば害も与えます。「あなたの神、主は焼きつくす火、ねたむ神である」(申命記 4:24)、「わたしたちの神は、実に、焼きつくす火である」(ヘブル/エウレイ 12:29)ですから賢くなりたいものです。「主を恐れることは知恵のはじめである」(詩篇 111:20/第 110 聖詠)。

神の存在が私たちにとって喜びとなるのか或(ある)いは苦しみとなるのかを理解するために火の性質が役立ちます。私たちはもれなく全員、いつかこの世を離れて神の側(そば)に行かなくてはなりません。現在も神の存在の中に私たちにいるのですが、実際は神の被造物に覆(おお)われた中で生きています。死後はその被造物という覆いが取り払われます。神が自分との間に隔たりなく存在するとはいったいどのような状態でしょう。神を愛する人にとってそれは、この上ない喜びそのもの。このとき「神は愛なり」というヨハネの言葉の意味が体感で分かるのです。

しかし神を拒絶している人々にとってはどうでしょう。当然、神の存在は光どころか闇そのものです。「そのさばきというのは、光がこの世にきたのに、人々はそのおこないが悪いために、光よりもやみの方を愛したことである」(ヨハネ/イオアン 3:19)。そして彼らにとって悲惨な光からいつまでも逃れられないことを悟るのです。「この国の子らは外のやみに追い出され、そこで泣き叫んだり、歯がみをしたりするであろう」(マタイ/マトフェイ 8:12)。

「そうは言うけれども、神が私たちに愛を下さっているなら、どうしてそれが苦しみになるのでしょう」と尋ねられることがあります。これは私の友人が子供の頃の話です。良い関係ではない友人の叔母が、あるとき簡単な菓子を送ってきてくれたそうです。それでも彼女の母は嬉しくて、お礼に老舗(しにせ)のお菓子を贈答用に包んでもらい、それを持って私の友人の手を引いて叔母の家まで行ったのだそうです。玄関口に叔母が出てきたので、その菓子の贈り物を手渡そうとすると、叔母はその包みを見るや否や友人の母にこう怒鳴(どな)ったのです。「わざわざ当てつけに来たのかよ！」このような感情…私たちは理解できなくもありません。人間でも場合によっては愛が人を焼くこともあります。ましてや神は常に愛です。神は常に光です。常に火です。こうした神の存在を受け入れるか否かによって、人間の感情が全く異なるのは当然といえるでしょう。

最近の出来事・消息

小田原・平塚　**ボランティアデー**　11 月 3 日(祝) 9 時から有志信徒 14 名が集まって行いました。男性は主に物置の修繕と整理、女性は、境内の植木鉢の土の入れ替えと球根や苗の植え付け、更には植栽の剪定まで行いました。昼食を簡単に済ませたあと、後片づけをして解散しました。ご協力くださいました皆様に感謝申し上げます。

こども感謝祈祷　11 月 6 日(日) 10 時からの主日聖体礼儀に続き、こども成長感謝祈祷を行いました。幼児と小学生合わせて 3 名が聖所の中央に並んで司祭から祝福とプレゼントを受けました。また、避難のために 3 ヶ月ほど滞在していたガリーナ姉が、11 月 19 日にウクライナへ帰国するとのことで、「幾年も」の祈祷を共にされました。帰国するとお一人で生活されます。私どもは引き続きガリーナ姉を記憶して祈って参りたいと思います。

柏久保・修善寺　**聖体礼儀**　11 月 12 日(土) 10 時から、柏久保教会に7名が集って聖体礼儀を行いました。清々しい秋の日に、久しぶりに食事の時間まで共にできたことをうれしく思います。その後柏久保の信徒会館をお借りして、堂役の方々のための勉強会を行いました。夕方 4 時からは湯ヶ島にて墓地祈祷を行いました。翌日 13 日(日)には修善寺教会にて 9 名の参祷者にて聖体礼儀を行いました。昼食後、修善寺共同墓地での墓地祈祷を予定していましたが、雨のため、聖堂にて対象となる永眠者のためのパニヒダを行いました。

墓地祈祷　10月10日から始まった修善寺ハリストス正教会墓地祈祷は、おかげさまで11月13日に終わりました。13日の修善寺温泉場地区のみ、悪天候のため墓前での祈祷ができず代わりに聖堂でのパニヒダとなりましたが、把握する限りの修善寺教会に連なる永眠信徒のための祈りが今年も出来たことを神に感謝いたします。またそのために各墓地にてご準備下さったご家族の方々に言葉にはし難い感謝の気持ちを覚えました。ありがとうございました。

横 浜　**五旬祭後第２２主日聖体礼儀** 11 月 12 日(土)・13 日(日) 主日前晩祷および聖体礼儀をガヴリイル田中神父の司祷にて行いました。引き続きパニヒダを行いました。11月が月命日となるイオシフ大窪望神父様の記憶のため、神父様のご家族もパニヒダに参祷されました。

小田原・伊豆・横浜年末年始の祈祷のご案内

◆ **横浜降誕祭** (Nativity of Our Lord Jesus Christ at Yokohama)

Great Compline/Matins
徹 夜 祷 ： 2022 年 12 月 24 日（土）17 時～19 時 30 分
Divine Liturgy
聖体礼儀： 2022 年 12 月 25 日（日）10 時～11 時 30 分

小田原での祈祷はありません。No Liturgy at Odawara on 25th Dec.

2022-2023 Divine Liturgy
◆**年末年始聖体礼儀** 深夜に終了するので交通手段にご注意ください。

2022 年 12 月 31 日 23 時～2023 年 1 月 1 日 午前 2 時

小田原の聖堂にて **It will be finish in the midnight. Be aware of transportation.**

NewYear's Thanks giving prayer Odawara
◆**2023 年 元旦感謝祈祷 @小田原**

2023 年 1 月 1 日（日） 11 時から約 30 分 小田原の聖堂にて

NewYear's Thanks giving prayer Yokohama
◆**2023 年 元旦感謝祈祷 @横浜**

2023 年 1 月 2 日 11 時から約 30 分 横浜の聖堂にて

◆ **小田原降誕祭** (Nativity of Our Lord Jesus Christ at Odawara)

Great Compline/Matins
徹 夜 祷 ： 2023 年 1 月 6 日（金）17 時～19 時 30 分
Divine Liturgy
聖体礼儀： 2023 年 1 月 7 日（土）10 時～11 時 30 分

※祝賀会はありません。

◆ **修善寺・柏久保降誕祭** (Nativity of Our Lord Jesus Christ at Shuzenji)

Divine Liturgy
聖体礼儀： 2023 年 1 月 8 日（日）10 時～11 時 30 分

※祝賀会はありません。

献金報告 11/20 現在 日付は会計処理日です。ありがとうございました。

日付	氏　　名	摘　　要
10/30	内藤 直樹兄	パニヒダ献金
	紺野 雅章兄	パニヒダ献金
	廣石　清子姉	パニヒダ献金
	廣石 由美子様	パニヒダ献金
	新坂 秀男兄	パニヒダ献金
	松田　亨兄	パニヒダ献金
11/7	会見　典子様	パニヒダ献金

日付	氏　　名	摘　　要
11/7	小口　真一兄	感謝献金
11/20	中島　康雄兄	パニヒダ献金
	初芝 ヒサ子姉	感謝献金
	田中　祐子姉	パニヒダ献金

婦人会献金：今月はありません。

【2022年12月】小田原/平塚・修善寺/柏久保・横浜教会月間活動予定表

日	曜日	祈祷・行事・集会	主日・調・聖書の読み
1	木	[東京]	12/4 生神女進堂祭 十二大祭 使徒経:エフェ4:1-6 福音経:ルカ12:16-21
2	金	[東京]	
3	土	**[O 小田原] 祭日前晩祷(17:00)**	
4	日	**[O 小田原] ǂ生神女進堂祭聖体礼儀・執事会(10:00)** **[Y 横浜] 祭日代式祈祷(10:00)** 生神女進堂祭 (十二大祭)	
5	月		
6	火	[東京]	12/11 五旬祭後第26主日 第1調 使徒経:エフェ5:8-19 福音経:ルカ13:10-17
7	水	[東京　　午後:横浜廻家]	
8	木	[東京]	
9	金	[横浜　執事会15:00]	
10	土	**[K 柏久保] 主日代式祈祷(10:00)** **[Y 横浜] 主日前晩祷(17:00)**	
11	日	**[S 修善寺] 主日代式祈祷(10:00)** **[Y 横浜] ǂ主日聖体礼儀・月例パニヒダ(10:00)**	
12	月		12/18 五旬祭後第27主日 第2調 使徒経:エフェ6:10-17 福音経:ルカ17:12-19
13	火	[東京]	
14	水	[東京]	
15	木	[東京]	
16	金	[修善寺] 誦経者勉強会	
17	土	**[O 小田原] 主日晩課(17:00)**	
18	日	**[O 小田原] ǂ主日聖体礼儀・月例パニヒダ(10:00)** **[Y 横浜] 主日代式祈祷(10:00)**	
19	月	ミラ・リキヤの聖ニコライ祭	12/25 五旬祭後第28(聖列祖の)主日 第3調 使徒経:コロ3:4-11 福音経:ルカ14:16-24 横浜:降誕祭 (Nativity in New Calendar)
20	火	[東京]	
21	水	[東京]	
22	木	[東京]	
23	金	[横浜　執事会15:00　伝道会18:00]	
24	土	**[Y 横浜] 祭日前晩祷(17:00)**	
25	日	**[Y 横浜] ǂ祭日聖体礼儀・祝賀会(10:00)**	
26	月		12/31-1/1 新年聖体礼儀 第4調 使徒経:ティモ前2:1-7 福音経:ルカ4:16-22 ☆深夜に終了するので交通手段にご注意ください。
27	火	[東京]	
28	水	[東京]	
29	木		
30	金		
31	土	**[O 小田原] ǂ新年聖体礼儀(23:00-1/1 02:00)**	

＊[　]内は司祭または教区の活動。 **ǂ means where Divine Liturgy is held. K O S Y are initials of each parishes.**＊

＊聖体礼儀に参祷し領聖するときは、前日から十分に節制しましょう＊

＊ここには主日の聖書の読みが記載されています。お手持ちの聖書を読むときに活用して下さい。

12 月の永眠者一覧(敬省略)

	聖名	氏名	永眠年	縁故者
31日	輔祭ニーコン	松田　保治	1925年	
1日	ロマン	竹林　　喬	1982年	竹林　多恵子
1日	ラザリ	樋口(童子)	1918年	樋口家
1日	イリヤ	澁谷　隆文	2007年	澁谷　直樹
2日	マリヤ	青柳　良恵	2007年	横田　祥子
4日	タラシイ	百瀬　　宏	2003年	百瀬　　久
4日	ワシリイ	廣石　秀雄	2003年	廣石　明美
6日	ウエラ	小杉　美代	1893年	小杉　悦子
7日	ミヘイ	長澤　吉五郎	1924年	
8日	シメオン	上野　令次	1983年	上野　攻
13日	イシドル	小杉　雅男	1971年	小杉　悦子
13日	ダミアン	石川　忠義	1991年	石田　浩一
15日	マリヤ	星山　静子	1978年	星山　正美
15日	メフォディイ	日比野　恒美	2017年	日比野家
16日	マルファ	神谷　秀子	1981年	神谷　江津子
16日	マルティニアン	石川　福一	1934年	石田　浩一
17日	ニキタ	渡辺　正雄	1999年	渡辺　　宏
21日	マリヤ	渡辺　カネ	1954年	渡辺　　宏
23日	クリメント	吉崎　辰昭	1995年	野村　秀男
24日	マリヤ	元松　喜久	1981年	坂牟田　晃一
25日	アンナ	神谷　トク	1917年	神谷　淳一
27日	エウドキヤ	中根　きみ	1979年	
30日	イアコフ	神谷　虎吉	1960年	神谷　忠且
10日		上野　暎子	1979年	上野　攻

―降誕祭献金のお願い―

今月号に降誕祭献金袋を同封いたしました。教会では永眠された方々、今を生きる私たちのために祈り続けています。生活も不安になるご時世と存じますが、今後も教会活動が存続されますよう、少しでもご協力をお願い申し上げます。なお、郵送の場合、会計処理までは多少お時間を頂きます。会報への掲載は翌月号または翌々月号となります。ご了承ください。

降誕祭プレゼントコラム

横浜ハリストス正教会婦人会だより 昭和三九年一月号より

クリスマスケーキというと皆さんはすぐにデコレーシヨンケーキをお思いでしよう。このケーキの由来はもともと質素にすぎなかった信仰深い農民が幼な子時代のハリストスの苦難を思って、手づくりのおせんべいを作り供えたことがはじまりです。だから旅をするハリストス親子を偲ぶわけでケーキの一部は必ず旅人に分け与えたものだそうです。中には他人に食べさせない内、家の者は手をつけないところもあるという。材料は小麦粉卵ミルク木の実が使はれた。今でもヨーロッパ地方では手づくりに色々香料をしのばせて旅行者などには忘れ得ないクリスマスの味となつているそうです。（ソヒヤ角井恵子）

昔風の秋にはクリスマスというのがピッタリいたしません。降誕祭と申す方が自然に聞こえてまいります。クリスマスが誰の口にもされるのは戦後でございましょう。商店ではこれに便乗して二か月前から宣伝で大変です。日本特有の暮の市と重なって私共信者にはかえって落ち着かぬような気もいたします。私の子供の頃は、正月の門松がとれてから静かな気分でハリストスの降誕祭をお祝い致したものでした。日曜学校の頃は父や母に指導されて祝辞を書いて教会えもって行ったものでした。私は頼りにしていたおじいさんを亡くして子供心に一生県命に考えて自分でまとめてもって行きました。皆様の前で朗読して赤い顔をした記憶がございます。私としては降誕祭という言葉が非常に懐かしい思い出でございます。（ユリヤ小林百合）

婦人会だより本当にありがとうございました。御立派なもので頭が下がります。創刊の和やかな雰囲気が今後もずっと続きますように、私も是非載せていたゞきたいと存じます。（オリガ山口恒子）

（原文の通り掲載しています。）

↑ 植えられた白菊、満開（柏久保）

←月例パニヒダの様子（小田原）

↑ 感謝祈祷に集中する子供達（小田原）

← ボランティアデーの様子（小田原）